

令和4年度第1回羽島市生涯学習都市推進会議（会議要旨）

日 時	令和4年5月30日（月）午後1時30分～午後3時00分
場 所	羽島市役所301会議室
出席者	<p>（生涯学習都市推進会議委員）出席者17人（欠席者3人）</p> <p>松井 聡 委員（市長）</p> <p>前田 京子 委員（女性団体代表）</p> <p>鈴木登司雄 委員（社会教育委員代表）</p> <p>小森 博昭 委員（スポーツ推進会議代表）</p> <p>横山 政司 委員（小中学校代表）</p> <p>後藤周太郎 委員（高等学校代表）</p> <p>大野木 真 委員（自治委員会代表）</p> <p>近藤かよ子 委員（学識経験者）</p> <p>小林 美雪 委員（学識経験者）</p> <p>石黒 恒雄 委員（副市長）</p> <p>森 嘉長 委員（教育長）</p> <p>松原 雄一 委員（健福祉部長）</p> <p>横山 郁代 委員（健福祉部子育て担当部長）</p> <p>加藤 光彦 委員（産業振興部長）</p> <p>藤田 敦子 委員（公募委員）</p> <p>南谷 吉徳 委員（公募委員）</p> <p>小川 剛矢 委員（障がい者支援団体代表）</p> <p>（事務局）</p> <p>伊藤佳津子 市民協働部長 不破 康彦 生涯学習課専門官</p> <p>岩田 睦巳 生涯学習課長 牧野 充守 市民協働課長</p> <p>南部 浩一 学校教育課長 番 重宗 図書館長</p> <p>大橋 寛子 生涯学習課主幹 中尾 聡 スポーツ推進課係長</p> <p>木山 鉄兵 生涯学習課係長 辻 朝子 同課主任</p>
内 容	<p>1 委嘱書交付（机上交付）</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 生涯学習部門等の市長部局への移管について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき市民協働部長より説明</li> <li>・教育委員会の新たな構成と教育委員会の行政の進め方について 森教育長より補足説明</li> </ul> <p>4 協議事項</p> <p>羽島市生涯学習都市づくり5か年計画の変更について</p>

- ・資料に基づき生涯学習課長より説明

**【結果】**

委員の賛成により承認

5 意見交換

羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画に基づく令和4年度の主な取り組みについて

- ・資料に基づき生涯学習課長より説明（資料 p.4～5、「1家庭」～「2青少年」）
- ・会長の進行に基づき、各関係委員および事務局担当部署から各項目について補足説明

**【質疑応答】**

(委員) 放課後子ども教室について、美濃織織と資料にあるが、具体的なプランを教えてほしい。

(事務局) 美濃織織だけでなく、和太鼓など文化的な活動を色々と取り組めるように地域コーディネーターが計画を立てていて、6月から随時実施していくことになる。

- ・引き続き、資料に基づき生涯学習課長より説明（p.5～8「3地域における学び」～6その他支援」）
- ・会長の進行に基づき、適宜、各関係委員および事務局担当部署から各項目について補足説明

**【質疑応答】**

(委員) 文化センターでは様々な活動があるが、様々な分野の人が一つの大きな作品を作るような事があると、地域の文化力向上になると思う。これからの企画等で念頭に置いてほしい。

(事務局) 頂いたご意見も参考にしていきたい。

(委員) 2年後に国民文化祭が開催される。それに向けての動きがあれば教えてほしい。

(事務局) 先日、県において「清流の国ぎふ 文化祭2024」基本構想が策定された。今後、具体的な取り組みを検

討していくことになる。

(委員) 歴史民俗資料館について、しばらく前の報道で、滋賀で古いフィルムが見つかり、補修をして見られるようにすると聞いたが、どのように進んでいるか。

(事務局) 確認の上、次回お伝えしたい。

(委員) イタセンパラを通して、保護と周知だけでなく、環境教育や歴史分野まで幅のある教育に活かしてほしい。

(会長) おっしゃっていただいたような形での基本的な理念に基づく教育というのは教育委員会で行っている。木曾川全体の環境と合わせた重要な課題であるので、常に力を入れていきたい。

(委員) 高齢者のウォーキングについて、ただ歩くだけでなく、史跡めぐりやネイチャーウォーキングなどが好評である。生涯学習と高齢福祉の連携の元、そのような企画をしてほしい。

(事務局) 前向きに検討していく。

#### 【意見交換】

(委員) 「健幸トリップはしま」で行われたバランスの良い食事作りに関わった。久々のイベントで参加者の明るい顔を見ることができた。フードロス問題への取り組みや地場野菜を使った調理実習にも力を入れて取り組んでいきたい。

(委員) コロナ禍で閉じこもることが多い中、顔を合わせて話をする事の大切さを感じている。地域と繋がっていく活動にこれからも関わっていきたい。

(委員) 今回の会議の内容を受けて、今後どのように委員として関わり、連携をとればいいのか考えさせられた。関係をより密にして、連携していく方法を模索していきたい。

(会長) 地域との関わりは市民協働の最大の課題だ。相談しながら進めていきたい。

(委員) 羽島市を担っていく子どもたちに色々なサポートをしていただいていると感じる。イタセンパラや文化的なことに関しては、学校を通じて伝えていける。子どもたちが興味を持って次の時代を担ってくれると嬉しい。

(委員) それぞれの課と結びついて良い方向で生涯学習が進展していると感じる。それを継続させてほしい。イタセンパラに関しては、羽島高校は地域連携をしている。環境部署と連携をとっていきたい。

(委員) ・今年4月に小熊町に小熊ちふう伝統文化伝承会を作った。本格的な稼働はこれからだが、先人から引き継がれてきた伝統文化を大事に育てていきたい。  
・今、ネット上での誹謗中傷が問題になっているが、羽島市ではそういう事は起きていないのか。対策を検討してほしい。

(委員) 現段階では、学校から配布している機器におけるトラブルは聞いていない。一方で、子どもたちは小学校高学年から半分以上がスマートフォンやタブレット端末を所有しているので、それに基づくトラブルについては、少し報告を受けている。しかし、それらの機器を有効に使う事で、学びの広がりや、有効に人とのコミュニケーションが図れるという、良さを伝えるという方向で、教育を行っている。

(委員) 学びたいと思う高齢者の学習の場を広げることをさらに検討してほしい。

(会長) そういった企画はあるものの、参加率の関係もあり、継続が難しい部分もある。しかし、時代の要請でもあるので、今後しっかりとした対応を検討していきたい。

(委員) 幼児教育の充実を目標にしてもらえたのが嬉しい。羽島市全体では他の園との連携がまだ弱い部分がある。幼児教育が充実してくれば、若い両親やその親、さらにその親に至るまで、子どもを通して生涯学習が

発展する道筋が新たに見えてくるのではないかと思う。

(会 長) 多世代に浸透する生涯学習は大変難しい事だが、行政はもちろん、個々人それぞれが自分事として人生を捉える事が新たなコミュニケーションの醸成に繋がると思う。

—————意見交換終了・閉会—————